

三上山 (山城町)

— 加茂町の史跡・古寺と山城町の山

JR京都駅 (徒歩70分) JR関西本線・加茂駅 (徒歩10分) 恭仁大橋 (徒歩15分)
 山城国分寺跡 (徒歩40分) 海住山寺 (徒歩15分) 鞍部 (徒歩6分) 鳴子川林道 (徒歩25分)
 遊歩道登り口 (徒歩30分) 三上山 (徒歩40分) 林道との合流 (徒歩20分)
 207.7標三角点 (徒歩50分) JR奈良線・棚倉駅

奈良県に接する加茂町を振り出しに、恭仁京が置かれた山城国分寺跡、国宝の五重塔を有する海住山寺を巡って山城町に入り、遊歩道を三上山(「京都の自然200選・地形部門」に選定)に登るコースである。

JR加茂駅前から、右斜めのやや狭い道を通り、木津川のほとりに出て、長さ285mの恭仁大橋を渡る。そして最初の十字路を左折し、国道を渡ると山城国分寺跡の標柱がある。道路を隔てた小学校の裏にも標柱が見られる。ここが金堂(本尊を安置してある堂)の跡という。この道路を北へ行くと、右上方に海住山寺の大きな看板が見える。T字路を右へ、大井出水(鎌倉時代に水不足を解消するためにつくられた用水路)に沿って、小さな五輪塔がある辻を左折、次いでカーブミラーが見える道を行くと火の見やぐらがある。



下山途中、振り返って仰ぐ三上山

ここが海住山寺の参道で、登るにつれて瓶原の展望が開けてくる。離れて建っている山門が昔の参道を物語っている。町石は八町(一町は約109m)で終わる。

本堂の右側奥に、府下最大のヤマモモの木があり、「京都の自然200選・植物部門」に選定されている。ここを登ると、鳥獣供養塔の前を通って山道が続いている。鞍部を越えると、すぐ鳴子川に沿う3m幅の林道に降りる。加茂・山城町境のこの谷を遡ると、林道は山を登りはじめる(右数mのところにも登路があるが林道で消滅する)。日陰のない殺風景な道を行くこと約15分。東に向きを変えるところで遊歩道と合する。黒色の階段を登ると山城町森林公園から登ってきた道と合流し、ヒノキ林の中を行く。尾根の近くに出て右へ5分ほど行った分かれを登ると、すぐ三上山(473.3m)の頂上に着く。ここには手作りのベンチが設けられている。